７．教職支援の活動

（１）公立学校を希望する学生を支援するため、充実したプログラムを準備している。教職教養、一般教養、専門教養の筆記試験対策、面接試験対策等を実施しており、指導は元校長など学校現場の経験者が行っている。

（２）学生時代に多様な経験をさせるために、学校支援ボランティアなどのボランティア活動を推奨しており、現在２０の教育委員会と学校ボランティアの連携協定を締結している。多数の学生が、学校での授業や学級経営の補助、特別支援教育の補助、自然学校や神戸市ジュニアリーダーなど野外活動等に参加し、教職への理解や子ども支援の方法などを学校現場で学んでいる。学生自身の視野を広げ、社会をより俯瞰的に捉えることのできるよう、多様な他者との協働を目的としたボランティアやプロジェクト活動への参加を促進している。